

南山大学

入学試験要項

2026

総合型入試[プレゼンテーション型]

【人文学部キリスト教学科】

【人文学部人類文化学科】

【経済学部】

【総合政策学部】

【理工学部】

【国際教養学部】

NANZAN
UNIVERSITY

総合型入試における注意事項

本学総合型入試は、専願ではありません。ただし、本学総合型入試において出願できるのは1学科のみです。複数学科、複数の総合型入試の型（プレゼンテーション型や資格・検定試験活用型など）への併願はできません。大学および学部・学科のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、出願する1学科を選択してください。

目次

1. 総合型入試の趣旨（アドミッション・ポリシー）	1
2. 総合型入試〔プレゼンテーション型〕のスケジュール	8
3. 募集学部・募集学科・募集人員	9
4. 出願資格	9
5. 出願書類	10
6. 出願手順	13
7. 出願登録	13
8. 入学検定料	14
9. 出願書類等の受付	15
10. 受験票	15
11. 審査および第1次審査合格発表	15
12. 第2次審査当日の注意事項	18
13. 第2次審査合格発表	19
14. 入学手続	19
15. 入学前課題	20
16. 成績開示	20
17. 個人情報の取扱い	20
アクセスマップ	21
キャンパスマップ	22
所定用紙（とじこみ）	
よくある質問（とじこみ）	

入試に関する情報は、南山大学Webページ 受験生の皆様 でご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>

不測の事態により、この要項に記したことに変更が生じる場合や、追加でお知らせする場合は、全てこのページに掲載します。適宜ページをご確認いただきますよう、お願いいたします。



<受験の際の特別な配慮について>

本学の入学試験における配慮は、原則として大学入学共通テストでの配慮内容に準じ、可能な限り対応します。障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、「南山大学Webページ 受験生の皆様」内の専用ページの指示に従い、8月下旬までに申請をしてください。なお、出願書類送付後の申し出については、十分な対応をしかねる場合があります。出願の検討段階でも構いませんので、原則として出願前に申請をお願いします。

また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかに申請をしてください。

1. 総合型入試の趣旨

○南山大学 アドミッション・ポリシー

南山大学は、教育の目的と理念に定める人材を育成するために、高等学校等における学習をとおして確かな基礎学力を身につけた学習意欲の高い人を受け入れます。とりわけ、入学後、本学の教育の目的と理念を理解し、人種、宗教、文化等、異なる背景を持つ人々と共生・協働することにより新たな価値の創造に貢献する意欲のある人を受け入れます。このような人を受け入れるために、様々な方法で選抜を実施します。

【人文学部】

○人文学部 アドミッション・ポリシー

人文学部は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【Ⅰ 知識・理解】

人文学部で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力を身につけている。

【Ⅱ 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章で的確に表現できる。

【Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度】

1. 文化、歴史、社会、および人間のあり方についての知的関心を持っている。
2. 自己や他者との対話をとおして成長していこうとする主体性と協調性を持っている。

○人文学部キリスト教学科 アドミッション・ポリシー

人文学部キリスト教学科は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【Ⅰ 知識・理解】

キリスト教学科で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力を身につけている。

【Ⅱ 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章で的確に表現できる。

【Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度】

1. キリスト教の思想的、文化的、歴史的、実践的分野に関心を持っている。
2. 将来、カトリック司祭や宗教科教員をはじめとしたキリスト教学科での学びを活かす職業に就こうという意欲を持っている。

入試方式		評価方法	アドミッション・ポリシー		
			I 知識・技能	II 思考力・判断力・表現力	III 主体的に学習に取り組む態度
総合型選抜	総合型入試 [プレゼンテーション型]	小論文	○	◎	
		プレゼンテーション+面接	○	◎	○
		書類審査	○	○	◎

評価方法	評価のねらい
小論文	文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。
プレゼンテーション+面接	プレゼンテーション、面接を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。
書類審査	本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

○人文学部人類文化学科 アドミッション・ポリシー

人文学部人類文化学科は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【I 知識・理解】

人類文化学科で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力を身につけている。

【II 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章で的確に表現できる。

【III 主体的に学習に取り組む態度】

1. 人間とは何か、わたしたちはどのように生きていくべきか、といった問題に関心を持っている。
2. 日本を含めた世界の歴史、社会、文化の諸問題に関心を持ち、それらの解決に取り組む、地域社会、国際社会に貢献する意欲を持っている。

入試方式		評価方法	アドミッション・ポリシー		
			I 知識・技能	II 思考力・判断力・表現力	III 主体的に学習に取り組む態度
総合型選抜	総合型入試 [プレゼンテーション型]	小論文	○	◎	
		プレゼンテーション+質疑応答	○	◎	○
		書類審査	○	○	◎

評価方法	評価のねらい
小論文	文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。
プレゼンテーション+ 質疑応答	プレゼンテーション、質疑応答を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。
書類審査	本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

○総合型入試 [プレゼンテーション型] 【人文学部キリスト教学科】 【人文学部人類文化学科】 について

アドミッション・ポリシーに基づき、特に次のような人を受け入れます。

<キリスト教学科>

- ・キリスト教学科で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力を身につけている人
- ・自身の考えを口頭または文章で的確に表現できる人
- ・キリスト教の思想的、文化的、歴史的、実践的分野に関心を持っている人
- ・将来、カトリック司祭や宗教科教員をはじめとしたキリスト教学科での学びを活かす職業に就こうという意欲を持っている人

総合型入試では、中学校および高等学校在学中における諸活動への取り組みも評価します。

<人類文化学科>

- ・本学のモットー「人間の尊厳のために」に賛同し、人間とは何か、わたしたちはどのように生きていくべきか、といった根本的な問題への関心、また、日本を含め世界を視野に入れた人間の歴史、社会、文化の諸問題への関心と、それらを学ぶために必要な高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、それらの解決に取り組み、地域社会、国際社会に貢献する意欲を持つ人

【経済学部】

○経済学部 アドミッション・ポリシー

経済学部は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【Ⅰ 知識・技能】

経済学部で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力（特に、外国語、国語、数学、歴史に関する知識・技能）を身につけている。

【Ⅱ 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章で的確に表現できる。

【Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度】

社会・経済に強い関心を有し、経済学部で学ぶ知的総合力を活かして社会に貢献する意欲を持っている。

入試方式		評価方法	アドミッション・ポリシー		
			I 知識・技能	II 思考力・判断力・表現力	III 主体的に学習に取り組む態度
総合型選抜	総合型入試 [プレゼンテーション型]	小論文	○	◎	
		プレゼンテーション+ 質疑応答	○	◎	○
		書類審査	○	○	◎

評価方法	評価のねらい
小論文	文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。
プレゼンテーション+ 質疑応答	プレゼンテーション、質疑応答を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。
書類審査	本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

○総合型入試 [プレゼンテーション型] 【経済学部】について

アドミッション・ポリシーに基づき、特に次のような人を受け入れます。

経済学部が行う総合型入試においては、高校までの学習において、社会・経済に関する具体的な問題について自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に探究、活動した経験を持つ人を求めます。そのために、

- ・社会・経済の諸問題への関心と、それらについて学ぶための基礎学力を持ち、
- ・自ら設定した課題の解決に向けた探求や活動の経験から何らかの知見や教訓を得て、
- ・そうした知見や教訓を他者に伝える能力のある者であること

を問います。

ここでの探求や活動には、高校での「総合的な探求の時間」における活動はもちろんのこと、個人的な関心から特定の事柄について非常に詳しい知識を持つに至った趣味としての活動や、自身の社会的関心や社会貢献に基づくボランティア活動なども含まれます。社会・経済の諸問題について、自身の興味・関心を追求する中で自ら課題を発見し、主体的に解決を試みてきたことが問われています。

なお、以上の内容に関わる受賞歴や取得資格、あるいは新聞記事への掲載実績などが提示された場合、それを書類審査の対象として考慮することがあります。希望する場合は、出願書類の「自己の能力を証明する書類」として、出願時に提出して下さい。なお、掲載実績は掲載日、媒体名、URLなど掲載が確認できる情報を明記してください。

【総合政策学部】

○総合政策学部 アドミッション・ポリシー

総合政策学部は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【Ⅰ 知識・技能】

総合政策学部で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力（読解力、語学力など）を身につけている。

【Ⅱ 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章での確に表現できる。

【Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度】

1. 地域固有の歴史や文化、さらには、国際関係、政治や経済、環境問題などの現代社会の諸問題に興味や関心があり、多様な価値観を理解する意欲を持っている。
2. 机上の学習のみならず、フィールドに出て自らの目で見学したり、いろいろな国や地域の人々と積極的にコミュニケーションを取ったりすることで世界に関わる意欲を持っている。

入試方式		評価方法	アドミッション・ポリシー		
			Ⅰ 知識・技能	Ⅱ 思考力・判断力・表現力	Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
総合型選抜	総合型入試 [プレゼンテーション型]	小論文	○	◎	
		プレゼンテーション+ 口頭試問	○	◎	○
		書類審査	○	○	◎

評価方法	評価のねらい
小論文	文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。
プレゼンテーション+ 口頭試問	プレゼンテーション、口頭試問を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。
書類審査	本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

○総合型入試 [プレゼンテーション型] 【総合政策学部】について

アドミッション・ポリシーに基づき、特に次のような人を受け入れます。

総合政策学部が行う総合型入試においては、留学やNGO・NPO活動、様々なボランティア活動や社会活動など、現場での実践的活動に積極的に取り組んできた人を募集します。

【理工学部】

○理工学部 アドミッション・ポリシー

理工学部は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【Ⅰ 知識・理解】

理工学部で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力（特に、理科、数学に関する知識・技能）を身につけている。

【Ⅱ 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章で的確に表現できる。

【Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度】

1. コンピュータ、機械、通信などの技術に強い関心を持ち、それらを主体的に学ぼうとする意欲を持っている。
2. 他者との対話をとおして学び、成長しようとする主体性と協調性を持っている。
3. 理工学部での学びを発展的に活かして社会に貢献する意欲を持っている。

入試方式		評価方法	アドミッション・ポリシー		
			Ⅰ 知識・技能	Ⅱ 思考力・判断力・表現力	Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
総合型選抜	総合型入試 [プレゼンテーション型]	小論文	○	◎	
		プレゼンテーション+ 質疑応答	○	◎	○
		書類審査	○	○	◎

評価方法	評価のねらい
小論文	文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。
プレゼンテーション+ 質疑応答	プレゼンテーション、質疑応答を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。
書類審査	本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

○総合型入試 [プレゼンテーション型] 【理工学部】について

アドミッション・ポリシーに基づき、特に次のような人を受け入れます。

理工学部が行う総合型入試においては、

- ・ コンピュータ、機械、通信などの技術とその数理的な説明について関心を持ち、それらを主体的に学ぼうとする意欲を持つ人
- ・ 大学院への進学に興味と意欲を持つ人

を募集します。なお、この入試による入学者については、理工学部の早期卒業制度に推薦し、これによって南山大学大学院理工学研究科博士前期課程への進学を奨励する予定です。

【国際教養学部】

○国際教養学部 アドミッション・ポリシー

国際教養学部は、教育の目的、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき、次のような人を受け入れます。

【Ⅰ 知識・技能】

国際教養学部で学ぶために十分な、高等学校卒業レベル以上の基礎学力（特に、外国語、国語、歴史、数学に関する知識）を身につけている。

【Ⅱ 思考力・判断力・表現力】

自身の考えを口頭または文章で的確に日本語および英語で表現できる。

【Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度】

1. 現代社会の諸問題を理解するために必要な幅広い教養と深い専門知識を身につけ、さらに、コミュニケーション能力や異文化理解力を高める意欲を持っている。
2. 国・地域の枠を超えた多様な文化的背景を持つ人々と協働し、グローバル社会で生起する問題を解決するなど、グローバル社会の持続可能な発展に寄与したいという展望を持っている。

入試方式		評価方法	アドミッション・ポリシー		
			Ⅰ 知識・技能	Ⅱ 思考力・判断力・表現力	Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
総合型選抜	総合型入試 [プレゼンテーション型]	小論文	○	◎	
		プレゼンテーション+面接	○	◎	○
		書類審査	○	○	◎

評価方法	評価のねらい
小論文	文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。
プレゼンテーション+面接	プレゼンテーション、面接を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。
書類審査	本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

○総合型入試 [プレゼンテーション型] 【国際教養学部】について

アドミッション・ポリシーに基づき、特に次のような人を受け入れます。

国際教養学部が行う総合型入試においては、

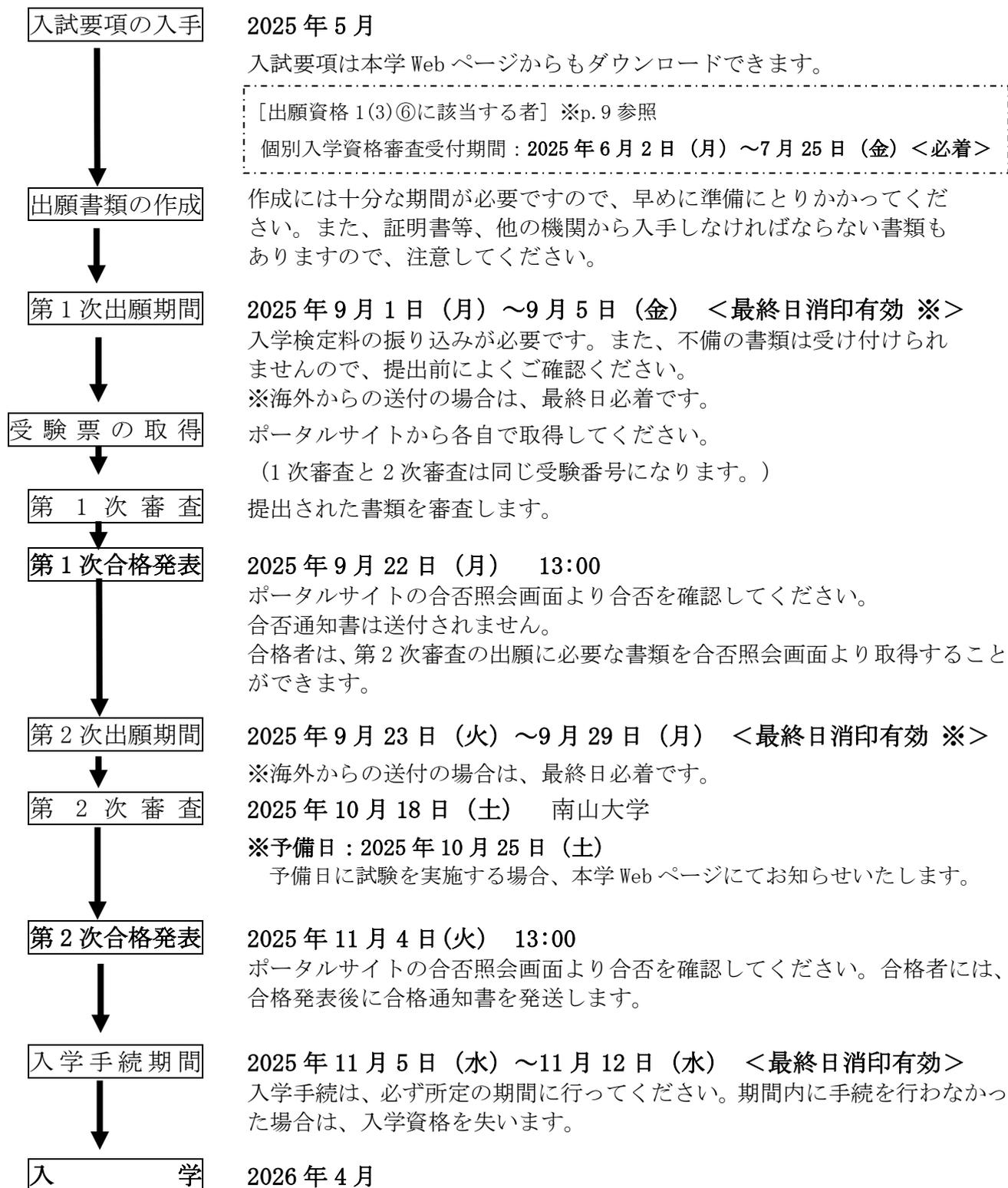
- ・グローバル社会で生起する問題に強い関心を持ち、諸問題を解決しようとする高い志を持った人
- ・論理的思考力と異文化理解力を備えた人

を募集します。

※各学部学科のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーは、本学 Web ページをご参照ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html>

2. 総合型入試[プレゼンテーション型]のスケジュール



3. 募集学部・募集学科・募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
人文学部	キリスト教学科	若干名
	人類文化学科	5名
経済学部	経済学科	10名
総合政策学部	総合政策学科	10名
理工学部	ソフトウェア工学科	5名
	データサイエンス学科	5名
	電子情報工学科	5名
	機械システム工学科	5名
国際教養学部	国際教養学科	12名

4. 出願資格

出願時に各項のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④文部科学大臣の指定した者
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2026年3月31日までに合格見込みの者（大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - ⑥本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年4月1日までに18歳に達する者

<個別の入学資格審査について>

外国人を対象に教育を行うことを目的とし、我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学歴を有する者または有する見込みのある者は、2025年6月2日（月）～7月25日（金）<必着>に申請書類を提出してください。詳しくは、本学Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。本学入学センターまでお問い合わせください。

5. 出願書類

「出願書類チェックリスト」に基づき、書類の不備や不足がないことを確認してください。
 また、「出願書類チェックリスト」は、出願書類に添えて提出してください。
 所定用紙が複数枚あるものは、記載する項目がない場合でも、すべての用紙をご提出ください。

第 1 次 審 査		
1	出願確認票 ※異体字や環境依存文字等、一部の漢字は氏名として使用することができません。代替の漢字を入力してください。 例) 吉田 → 吉田、辻 → 辻 ※必要事項登録および検定料支払終了後に「出願確認票」が印刷できるようになります。 ※出願確認票を印刷する際、登録したユーザ ID、パスワードでポータルサイトにログインしてください。「志願者情報」画面にアップロードした写真が出願確認票に印刷されます。	Web出願登録 および 検定料納入後、 ポータルサイト より印刷
2	志願者調書 ※記載する項目がない場合でも、1/2、2/2どちらもご提出ください。	所定用紙①
3	志望理由書（所定用紙3枚） ※【経済学部】本学部への志望理由に加え、経済学に興味を持った経緯・理由および大学卒業後に経済学をどのように活用したいかを含め記述してください。 ※【総合政策学部】本学部への志望理由に加え、最も関心のある現代社会の問題について、その理由を含め記述してください。 ※【理工学部】本学部の学科への志望理由に加え、本学部での学びに関連して関心のある科学技術について、所定用紙に2枚程度以上で記述してください。 ※【国際教養学部】日本語の場合は2000字程度、英語の場合は800語程度で記述してください。	所定用紙②
4	自己推薦書（所定用紙3枚） ※これまで行った顕著な活動について、そこから得られたことも含め、記載してください。 ※自己の能力を証明する資料があれば、その写し(A4サイズ)も併せて提出してください。 ※【人文学部人類文化学科】本学科が求める人物像に言及してください。自己の能力を証明する資料は、ドイツ語検定、フランス語検定、中国語検定などのほか、文部科学省が後援している人文学系のコンテストでの受賞歴などを提出してください。 (参考： https://www.blog.studyvalley.jp/2022/01/25/award/) ※【経済学部】社会・経済に関することで自ら課題を発見し、解決に向けて主体的に努力したことを記述してください。 ※【総合政策学部】これまでに取り組んできた実践的活動については特に詳細に記述してください。 ※【理工学部】これまでに取り組んできた実践的活動について、科学技術・数学・物理学と関連づけて、所定用紙に2枚程度以上で記述してください。図表を使っても構いません。 ※【国際教養学部】日本語の場合は2000字程度、英語の場合は800語程度で記述してください。	所定用紙③
5	出身高等学校の調査書（厳封されたもの） ※卒業見込みの者は、出願前3ヵ月以内に発行されたもので、出願時点で最新の成績および履修科目が記載されたものを提出してください。 ※調査書が発行されない場合は、出願資格を証明する書類を提出してください。(11頁参照) ※高等学校全期間のうち、複数の高等学校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記載された成績証明書を各高等学校から発行を受けて提出してください。 なお、最終在籍校(卒業校)の学業成績証明書に以前所属していた学校の成績を含め、高等学校全期間の成績が記載されている場合は、最終在籍校の学業成績証明書のみの提出で構いません。 ※成績証明書の提出が不可能な場合は、これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。(例：イギリスの教育制度) ※【理工学部】特に数学の成績を評価します。	
6	外国の高校等の在籍証明書 ※外国の高校等で履修した場合は提出してください。 ※卒業(見込)証明書または学業成績証明書に在籍期間が明記されている場合は不要です。	所定用紙A

7	出願用封筒表書 ※ポータルサイトより各自印刷してご利用ください。 ※任意の封筒（角型2号サイズ以上）に貼付して郵送してください。 ※所定用紙は折り曲げないで、封筒に入れてください。	Web出願登録 および 検定料納入後、 ポータルサイト より印刷
8	宛名シール ※宛名シールの住所に第2次審査の可否通知書を送付します。 ※志願者本人の送付先を記入してください。	とじこみ
9	日本学生支援機構<給付奨学金>の大学等奨学生採用候補者決定通知 【提出用】コピーまたは簡易版 ※日本学生支援機構<給付奨学金>の大学等奨学生採用候補者のみ提出してください。 ※出願時に不備なく提出された方については、高等教育の修学支援新制度の対象者と認定し、入学手続き時には授業料減免後の金額を納入いただきます。ただし、入学金につきましては、一旦全額納入いただき、本学入学後に減免相当額を返還いたします。（「14. 入学手続」参照） 出願時に本学指定の書類を提出されない場合（高校等からまだ大学等奨学生採用候補者決定通知を受け取っていない場合を含む）は、入学手続き時には一旦、減免対象額を含む全額を納入いただきます。入学後に本学指定の書類を提出し、高等教育の修学支援新制度の対象者と認定した時点で減免対象額を返還します。 ※減免対象となるのは「給付」のみです。「貸与」は減免対象となりません。 ※支援区分「第Ⅳ区分（私立理工農）」の採用候補者は、本学においては「理工学部」への入学者のみが減免対象となります。理工学部以外への入学者は対象となりません。	

- ・第1次審査合格者のみ、第2次審査出願のための以下の所定用紙をポータルサイトの可否照会画面から印刷できます。
- ・第2次審査の出願受付期間内に第2次審査出願意思確認票を郵送で提出してください。

第 2 次 審 査		
1	第2次審査出願意思確認票 ※プレゼンテーションの方法を選択してください。 ※【総合政策学部】プレゼンテーションの使用言語を選択してください。 （日本語・英語で複数選択可）	ポータル サイト上 可否照会 ページより 印刷
2	入学検定料確認書（第2次審査用） ※第2次審査出願意思確認票に貼付してください。 ※第2次審査の入学検定料支払いは金融機関窓口での取り扱いのみです。	
3	出願用封筒表書 ※任意の封筒（角型2号サイズ以上）に貼付して郵送してください。 ※所定用紙は折り曲げないで、封筒に入れてください。	

調査書が発行されない場合は、出願資格を証明する書類を提出してください。
 （提出する書類が不明な場合は、事前に本学入学センターまでお問い合わせください。）

出願資格	証明書類	備 考
高等学校卒業程度認定試験合格者 （見込みの者）	合格（見込）成績証明書	
外国における12年の課程を修了した者 （見込みの者）	①卒業（見込）証明書 ②学業成績証明書 ※高等学校全期間のもの	・p.12〈出願書類についての注意〉参照 ・証明書に在籍期間が明記されていない場合は、「 在籍証明書（所定用紙A） 」も併せて提出してください。
国際バカロレア資格を有する者	①国際バカロレア資格証書の写し ②最終試験6科目の成績証明書	
アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）を有する者	一般的大学入学資格証明書の写し	
バカロレア資格（フランス共和国）を有する者	①バカロレア資格証書の写し ②成績証明書	

GCE A レベル資格あるいは IGCE A レベル資格(グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国)を有する者	GCE あるいは IGCE の成績評価証明書 ※2 科目以上の合格が確認できるもの	
ヨーロッパ・バカロレア資格(欧州連合構成国)を有する者	①ヨーロッパ・バカロレア資格証明書の写し ②成績評価証明書	
個別の入学資格審査により、本学の入学(出願)資格が認められた者	入学資格認定書の写し	
その他高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(見込みの者)	①修了(見込)証明書 ②成績証明書	出身学校長が作成する調査書がある場合は、左記①②に代えて調査書を提出してください。

日本国籍を有しない志願者は、加えて次の書類の提出が必要です。出願に先立って、本学入学センターまでお問い合わせください。

提出書類	備考	様式
在留カードの写し	<ul style="list-style-type: none"> 出願時、既に日本にいる場合のみ 受験時に在留期間が有効であること 	
留学費支払能力に関する証明書	<ul style="list-style-type: none"> 在留カードの在留資格が「永住者」「定住者」の場合は提出不要 留学費支払能力を証明できる書類を添付(コピー可) 例)・金融機関発行の預貯金残高証明書 130 万円(初年度学生納入金相当額) 所得証明 	本学所定用紙
パスポートの写し	<ul style="list-style-type: none"> 受験時に有効であること 写真・氏名・パスポート番号のあるページを提出 在留カードの在留資格が「永住者」「定住者」の場合は提出不要 	

<出願書類についての注意>

- ・出願書類は、すべて**原本(オリジナル)**の提出を原則とします。ただし、自己推薦書に添付する自己の能力を証明する資料に関しては、その写し(A4 サイズ)を提出してください。
- ・一旦提出された出願書類は、原則として返還しません。
- ・原本が1部しかないものや再発行できないもの(卒業証明書や成績証明書等)は、原本証明がなされた複写(コピー)をご提出ください。
※原本証明とは、原本から正しく複製されたものであることを出身の高等学校や日本語学校等が証明し、機関印を押印したものです。
- ※出身の学校等で原本証明を受けることができない場合は、出願に先立って本学入学センターまでお問い合わせください。
- ・書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を作成し、翻訳の内容が原本と相違ないことを出身の高等学校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けた後、提出してください。
- ・提出された出願書類の記入事項の変更、または、書類の差し替えは認められません。
- ・出願書類は、入学後の指導上の参考資料とすることがあります。

6. 出願手順

南山大学の総合型入試の出願は、インターネットを利用する Web 出願で行います。入試要項をよく確認の上、出願登録および入学検定料の支払手続きをし、出願期間内に出願書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に出願書類を送付しない場合や、出願書類に不備がある場合は、出願が無効となります。

南山大学 Web 出願ポータルサイト : <https://sak-sak.net/portalapp/nanzan>

出願は以下の手順で行います。

① 事前準備
<input type="checkbox"/> 出願書類の準備 <input type="checkbox"/> E-mail アドレスの準備 <input type="checkbox"/> 顔写真データの準備 <input type="checkbox"/> パソコン・スマートフォン等環境の準備 <input type="checkbox"/> 印刷環境（プリンターなど）の準備
② 出願登録
<input type="checkbox"/> E-mail アドレスの登録 <input type="checkbox"/> 個人情報の登録 <input type="checkbox"/> 顔写真の登録 <input type="checkbox"/> 出願する入試種別の選択
③ 入学検定料の納入
<input type="checkbox"/> 入学検定料の納入 ※この段階では出願はまだ完了していません。
④ 出願書類を郵送する
<input type="checkbox"/> 出願確認票・出願用封筒表紙の印刷（ポータルサイト上での操作） <input type="checkbox"/> その他の出願書類・封筒の準備 <input type="checkbox"/> 郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送
出願手続完了
⑤ 受験票の取得（ポータルサイト上での操作）
<input type="checkbox"/> ポータルサイトにログインし、受験票を印刷 ※受験票は郵送されません。 ※入試当日は必ず印刷した受験票を持参してください。

7. 出願登録（出願締切：出願登録期間最終日 17：00）

出願登録期間	2025年9月1日（月）10:00 ～ 9月5日（金）17:00
--------	----------------------------------

- ・ポータルサイトにアクセスし、画面の指示に従って必要な情報を入力してください。
- ・Web 出願手順の詳細については、8月下旬に本学 Web ページ「受験生の皆様」に掲載する「出願手順（利用案内）」で確認してください。

8. 入学検定料

第1次審査：ポータルサイトからの支払い

第1次審査	
入学検定料 (第1次審査)	10,000円
支払期間 (第1次審査)	2025年9月1日 (月) 10:00 ~ 9月5日 (金) 19:00

●画面の指示に従って支払方法を選択してください。

ご利用可能な支払方法	支払締切	備考
<p>●クレジットカード</p> 	出願期間最終日 19:00	<p>●出願登録から72時間以内にお支払いください。72時間を過ぎた場合は、再度出願登録からやり直してください。</p> <p>●支払方法の選択後に表示される番号が必要になりますので、正確にメモを取り、控えておいてください。</p> <p>※出願受付番号とは異なります。また、コンビニエンスストアによって番号が異なります。</p>
<p>●コンビニエンスストア</p> 		
<p>●ネットバンキング・ページ</p>  <p>(一例)</p>		

- ・入学検定料は、支払締切を過ぎると支払いができなくなるので、余裕をもって出願登録および支払手続をしてください。
- ・入学検定料の他に取扱手数料（一律 990 円）が必要になります。
- ・入学検定料支払い後の入試方式、志望学部学科の変更・取消は一切できません。入学検定料の支払い前によくご確認ください。
- ・一旦納入された入学検定料は、原則として返還しません。
- ・入学検定料支払いの領収書は、ご自身で保管してください。南山大学へ提出する必要はありません。

第2次審査：銀行窓口での支払い

第2次審査	
入学検定料 (第2次審査)	25,000円
支払期間 (第2次審査)	2025年9月23日 (火) ~ 9月29日 (月)

- ・入学検定料確認書（第2次審査用）に必要事項を記入の上、切り離さずに金融機関の窓口へ持参し、「電信扱」で納入してください。
- ・納入後、入学検定料確認書（第2次審査用）のうちB・C票を受け取り、銀行収納印が押されていることを確認してください。B票（領収書）は切り離して本人が保管してください。A票は金融機関が保管します。
- ・C票は第2次審査出願意志確認票の中の所定の枠に貼付して、出願書類として提出してください。
- ・振込手数料は振込依頼人のご負担になります。
- ・現金や為替による支払いや、ATMによる振り込みは受け付けられません。
- ・一旦納入された入学検定料は、原則として返還しません。

9. 出願書類等の受付 ※郵送に限る

(出願確認票の印刷期間：出願受付期間（第1次審査）最終日 19:00)

第1次審査	
出願受付期間（第1次審査）	2025年9月1日（月）～9月5日（金） <最終日消印有効>

第2次審査	
出願受付期間（第2次審査）	2025年9月23日（火）～9月29日（月） <最終日消印有効>

- ・第1次審査の入学検定料支払後にポータルサイトから「出願確認票」を印刷できるようになります。
- ・出願受付期間（第1次審査）最終日 19:00 を過ぎると印刷することはできません。
- ・ポータルサイトから「出願用封筒表書」を印刷し、任意の封筒（角型2号サイズ以上）に貼付の上、「簡易書留速達郵便」で郵送してください。
- ・提出された出願書類に不備があった場合、大学から電話等により連絡します。出願書類に不備があり、出願受付期間内に解消されない場合は、出願を受理できないことがあります。
- ・出願後の志望学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
- ・一旦提出された出願書類は、原則として返還しません。
- ・海外からの送付の場合は、最終日必着です。

10. 受験票

受験票発行予定日	2025年9月12日（金） 10:00～
----------	----------------------

- ・受験票はポータルサイトから各自印刷し、試験当日に持参してください。
- ・受験票には試験室及び集合場所は記載されていません。10月15日（水）頃に本学Webページ「受験生の皆様」に掲載する「試験室・面接控室案内」で確認してください。

11. 審査および第1次審査合格発表

- ・審査は、第1次審査と第2次審査の2段階で実施します。
- ・第1次審査は、書類審査のみです。
- ・第2次審査は、第1次審査の合格者のうち第2次審査に出願した人が対象となります。
- ・第2次審査は、学部によって審査方法が異なります。下表を参照してください。
第2次審査の詳細は第1次審査合格者にお知らせします。

※各審査につきましては、尾張東部地方への台風の接近等に伴い、当初の日程での試験実施が困難と判断される場合は、予備の日程により試験を実施します。その場合は本学Webページにてお知らせいたします。

【全学科共通】

第 1 次 審 査	
審査	志望理由書、自己推薦書等の書類審査
合格発表	2025年9月22日（月） 13:00
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトにログインし、合否照会画面より合否を確認してください。 ・第1次審査合格者のみ、第2次審査出願のための所定用紙をポータルサイトの合否照会画面から印刷できます。 ・第2次審査の出願受付期間内に第2次審査出願意思確認票を郵送で提出してください。
第 2 次 審 査	
試験場	南山大学 名古屋市昭和区山里町18
実施日	2025年10月18日（土）※予備日 2025年10月25日（土）
集合時刻	9：40
試験室	10月15日（水）頃に本学Webページ「受験生の皆様」に掲載する「試験室・面接控室案内」で確認してください。

【第二次審査 審査時間・配点】

学部	学科	時間	内容	配点	合計
人文	科社教	10:00～11:30 (90分)	小論文	100点	300点
		13:00～	プレゼンテーション 面接	100点	
		—	書類審査	100点	
	人類文化	10:00～11:00 (60分)	小論文	200点	600点
		13:00～	プレゼンテーション 質疑応答	300点	
		—	書類審査	100点	
経済	経済	10:00～11:30 (90分)	小論文	200点	600点
		13:00～	プレゼンテーション 質疑応答	300点	
		—	書類審査	100点	
総合政策	総合政策	10:00～11:30 (90分)	小論文	200点	600点
		13:00～	プレゼンテーション 口頭試問	300点	
		—	書類審査	100点	
理工	ソフトウェア工学	10:00～11:30 (90分)	小論文	200点	600点
	データサイエンス 電子情報工学	13:00～	プレゼンテーション 質疑応答	300点	
	機械システム工学	—	書類審査	100点	
国際教養	国際教養	10:00～11:30 (90分)	小論文	200点	600点
		13:00～	プレゼンテーション 面接	300点	
		—	書類審査	100点	

【小論文・プレゼンテーションの概要】

学部	学科	審査	
人文	キリスト教	小論文	キリスト教の文化や思想に関する問題（英語あるいは日本語の文章を読み、設問に答える）（1200字程度）
		プレゼンテーション 面接	① プレゼンテーション（10分） これまでに積極的に取り組んできた活動および志望動機についての口頭でのプレゼンテーション ② 個人面接（20分） 志望動機、勉学意欲、中学校・高等学校での活動や経験などについての口頭試問
	人類文化	小論文	人間と文化・社会に関する文章を読んで、要約し、自分の考えを述べる。（1000-1200字程度）
		プレゼンテーション 質疑応答	① プレゼンテーション（10分） プレゼンテーションは、人類文化学科での学び（㉔文化人類学、㉕考古学、㉖哲学、㉗言語学のいずれか）に関する具体的なトピックを選び、それについてあらかじめ調べ、自分の考えをまとめた資料を準備してもらいます。その資料に基づいて口頭（日本語）で行ってください。 ② 質疑応答（10分） 質疑応答は、プレゼンテーションの内容を中心にを行います。
経済	経済	小論文	経済・社会問題に関する文章や資料を読んで、内容に関する設問について論述する。（1000字程度）
		プレゼンテーション 質疑応答	① プレゼンテーション（20分） パワーポイントなどの資料を用いて、社会・経済に関する具体的な問題について探究、活動してきたことを発表する。 ② 質疑応答（10分） プレゼンテーションの内容を中心に質疑応答を行う。
総合政策	総合政策	小論文	課題文や図表等の資料を参照し、各設問に対して指定された文字数で論述する。（1000～1200字程度）
		プレゼンテーション 口頭試問	① プレゼンテーション（10分） これまでに取り組んできた社会活動やボランティア活動などの実践的活動について、自らがどのように取り組んだかが分かるようなプレゼンを行う。使用言語は原則日本語とするが、第2次審査の出願時に英語を選択した場合のみ英語も認める。 ② 口頭試問（20分）
理工	ソフトウェア工学 データサイエンス 電子情報工学 機械システム工学	小論文	① 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cを含め、学科での勉学に必要な基礎学力を問う ② 論理的な思考能力を問う（800字程度）
		プレゼンテーション 質疑応答	① プレゼンテーション（10分） 数学、情報、物理の教科書の発展・課題学習や探究活動などの欄で紹介された課題について、またはこれらの教科に関する自分で選んだ課題について、志望する学科との関連を含めて行う。 ② 質疑応答（10分） プレゼンテーションや志望理由書、自己推薦書の内容について行う。
	国際教養	国際教養	小論文
プレゼンテーション 面接			① プレゼンテーション（10分） 国際教養学科での学びに関するトピックを選び、事実と歴史について調べた上で日本語もしくは英語で行う ② 面接（10分）

12. 第2次審査当日の注意事項

<持参する物>

1	受験票	<ul style="list-style-type: none">・ポータルサイトから取得し、各自で印刷してください。・当日忘れたり、紛失したりした場合は、案内所に申し出てください。
2	筆記用具	<ul style="list-style-type: none">・HBの黒鉛筆、シャープペンシル・プラスチック製消しゴム・下敷きの使用は認めません。
3	時計	<ul style="list-style-type: none">・試験室には時計がありませんので、各自で持参してください。ただし以下のようなものを時計として使用することはできません。・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電卓・通信・辞書機能を持つもの、またそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音が大きく周囲の受験者に聞こえるもの・アラームの機能が解除できないもの・大型のもの
4	昼食	<ul style="list-style-type: none">・昼食は各自で持参してください。・昼食は学内共有スペースまたは試験室の自分の席で食べてください。
5	プレゼンテーションに必要なもの	<ul style="list-style-type: none">・詳細は第1次審査合格者に通知します。

<受験上の注意>

- ・試験室棟は9:00に開場します。
- ・携帯電話等はアラームの設定を解除し、試験室に入る前に電源を切っておいてください。

<小論文について>

- ・9:40までに「試験室・面接控室案内」に従って小論文の試験室に入室し、自分の受験番号の席に着いてください。受験票は机の上に置いてください。
- ・試験室では、すべて監督者の指示にしたがってください。
- ・試験開始時間 10:00 から 20 分以上遅刻した者は、その後のプレゼンテーション・面接、口頭試問または質疑応答を含むすべての試験科目を受験できません。
- ・小論文試験開始後、その時間の試験終了まで退室を認めません。

<面接について>

- ・12:45 までに「試験室・面接控室案内」に従って面接控室に入室してください。
- ・面接室までは係員が案内します。
- ・面接終了後は、すみやかに面接室から離れてください。
- ・面接は開始時間から順番に実施します。面接の順番によっては待機時間が長くなる可能性があります。
- ・プレゼンテーションをするための準備の時間は、プレゼンテーションの時間とは別に設けられます。

13. 第2次審査合格発表

合格発表日時	2025年11月4日（火）13：00
--------	--------------------

- ・ポータルサイトにログインし、合否照会画面より合否を確認してください。
- ※合格発表直後はアクセス集中に伴い、ポータルサイトにログインしづらくなる場合があります。
- ・合格者には、合格通知書および入学手続書類を郵送します。合格発表後に発送しますので、地域によっては到着まで2～3日かかる場合があります。
- ・不合格者および試験当日欠席者には通知書は送付しません。
- ・合否に関する問い合わせには一切応じません。

14. 入学手続

入学手続期間	2025年11月5日（水）～11月12日（水）＜最終日消印有効＞
--------	----------------------------------

- ・第2次審査の合格通知書発送時に入学手続書類を同封します。入学手続書類にて「入学手続案内」Webページをご案内しております。入学手続の詳細は「入学手続案内」Webページにてご確認ください。
- ・入学手続は、必ず所定の期間内に行ってください。期間内に手続を行わなかった場合は、入学資格を失います。
- ・2026年度に必要な納入金は、次のとおりです。

納入金種別		入学手続時	秋学期納入金 (9月下旬に納入)
入学金		200,000円	-
授業料		400,000円	400,000円
教育充実費	人文・経済・総合政策・国際教養	120,000円	120,000円
	理工	170,000円	170,000円
学生教育研究災害傷害保険		3,300円	-
後援会入会金		1,000円	-
後援会費		10,000円	10,000円
同窓会入会金／年会費		3,500円	3,500円
合計	人文・経済・総合政策・国際教養	737,800円	533,500円
	理工	787,800円	583,500円

注1 2027年度以降の金額は、改定される可能性があります。

注2 学部により、入学時に学会費やその他の費用を必要とする場合があります。

注3 一旦納入された入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

なお、やむを得ない事情により、入学手続後に入学を辞退されるときは、2026年3月31日（火）＜必着＞までに本人および保証人連名の文書で返還請求があった場合に限り、納入金のうち入学金以外の授業料および教育充実費等を返還します。詳細は、「入学手続案内」Webページをご確認ください。

注4 日本学生支援機構＜給付奨学金＞の大学等奨学生採用候補者の方で、出願時に本学指定の書類を不備なく提出された方のみ、その支援区分に応じ、入学手続時には授業料減免後の金額を納入いただきます。ただし入学金につきましては、入学手続時は一旦全額納入いただき、本学入学後に減免相当額を返還します。

出願時に本学指定の書類を提出されない場合（高校等からまだ大学等奨学生採用候補者決定通知を受け取っていない場合を含む）は、入学手続時には一旦、減免対象額を含む全額を納入いた

きます。入学後に本学指定の書類を提出し、高等教育の修学支援新制度の対象者と認定した時点で減免対象額を返還します。

15. 入学前課題

- ・ 第2次審査合格者で入学手続を完了した方は、大学入学後の活動に備えて、各学部・学科が準備する入学前課題に取り組んでください。
- ・ 課題は、合格通知書発送時に同封します。

16. 成績開示

受験者に係わる個人情報をも、本人から請求があつた場合に限り開示します。

(1) 開示内容

第1次審査結果：書類審査得点

第2次審査結果：以下の得点、総合得点（第1次審査の得点を含む）

【人文学部キリスト教学科】 【国際教養学部】

小論文、プレゼンテーション・面接

【総合政策学部】

小論文、プレゼンテーション・口頭試問

【人文学部人類文化学科】 【経済学部】 【理工学部】

小論文、プレゼンテーション・質疑応答

(2) 開示請求期間

2026年4月1日（水）～5月7日（木） <最終日消印有効>

(3) 申し込み方法

開示請求期間内に、本学Webページをご覧ください。必要書類・受験票・成績開示手数料として郵便定額小為替500円分を本学入学センター宛に送付してください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>

(4) 開示方法

郵送で交付（2026年6月初旬予定）

17. 個人情報の取扱い

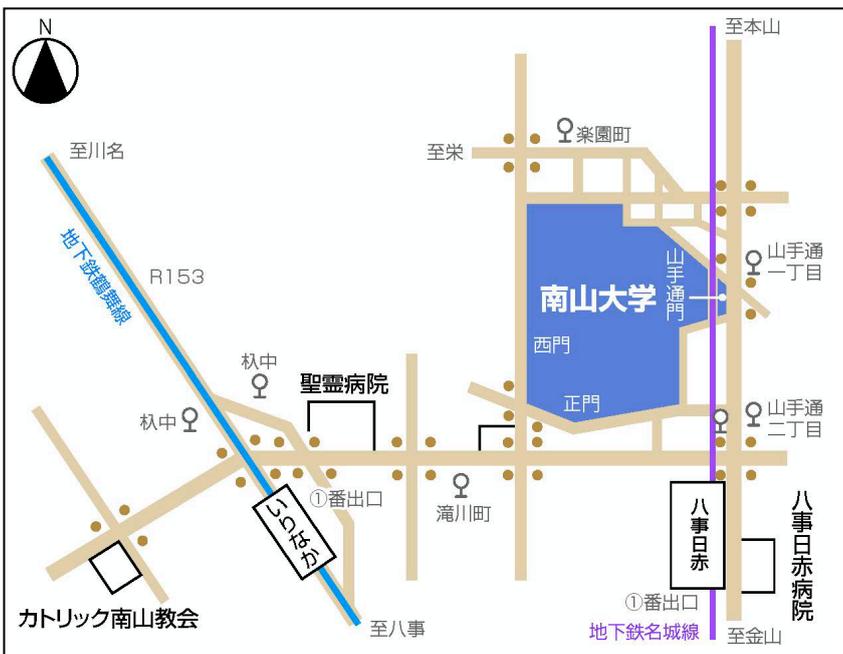
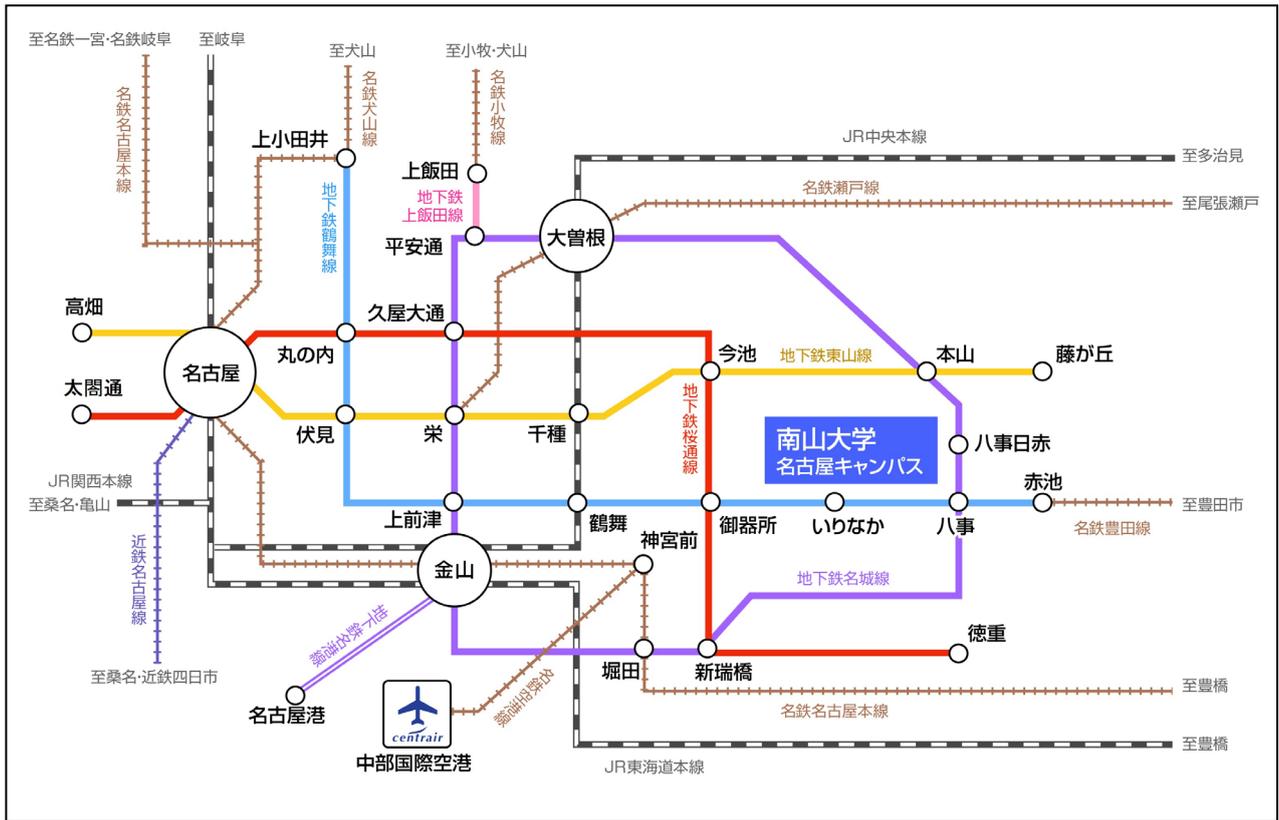
出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続きとこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。

上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

あらかじめご了承ください。

アクセスマップ



【 交通案内 】

地下鉄名城線「八事日赤」駅
1番出口より徒歩約8分

地下鉄鶴舞線「いりなか」駅
1番出口より徒歩約15分

キャンパスマップ



教室棟

<p>1 A棟</p> <ul style="list-style-type: none"> 法科大学院棟 法書実務教育研究センター <p>2 B棟</p> <p>3 D棟</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間関係研究センター 学生交流センター 教職センター 保健センター (保健室/学生相談室) /大学生生活支援室 <p>4 E棟</p> <p>5 F棟</p>	<p>6 G棟</p> <p>7 G30</p> <p>8 H棟</p> <p>9 J棟</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営研究センター 社会倫理研究所 アメリカ研究センター ラテンアメリカ研究センター ヨーロッパ研究センター アジア・太平洋研究センター 地域研究センター図書室 <p>10 K棟</p>	<p>11 L棟: ヒルシュマイヤー記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語学研究センター 視覚教育センター <p>12 M棟</p> <p>13 R棟</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッテンホール 国際センター グローバル戦略センター 外国語教育センター ワールドプラザ ジャパンプラザ 多文化交流ラウンジ 人類学博物館 礼拝室 南山エクステンション・カレッジ事務室 	<p>14 S棟</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報センター 理工学研究センター BISTRO CEZARS 丸善 LAWSON ラーニング・commons <p>15 Q棟</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア支援課 ラーニング・commons
--	--	---	--

その他の施設

<p>16 C棟</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生課 教務課 SWEETS MAGIC Lab. <p>17 N棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ラーニング・commons <p>18 第2研究室棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ラーニング・commons <p>19 南山宗教文化研究所/人類学研究所</p> <p>20 同窓会館</p> <p>21 本部棟</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学センター 教学企画課 研究推進課 ウエルオン 	<p>22 総合受付</p> <p>23 茶室</p> <ul style="list-style-type: none"> 方寸庵・也有の席 <p>24 南山大学ライネリス中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ラーニング・commons <p>25 第1研究室棟</p> <p>26 クラブハウス</p> <p>27 体育館</p> <p>28 体育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育教育センター メインアリーナ 室内プール 第3食堂 	<p>29 コバン:学生会館</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修センター フォノ CEZARS CAFE LAWSON 咖喱日和 紀伊屋書店 NES <p>30 リアソ</p> <ul style="list-style-type: none"> リアソカフェ クラブハウス 	<p>31 西門受付</p> <p>32 第2クラブハウス</p> <p>33 ログセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> キリスト教センター <p>34 南山大学名古屋交流会館</p> <p>35 南山大学ヤンセン国際寮</p>
--	--	--	---

神言会施設

<p>36 神言神学院</p>



南山大学

南山大学 入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)

Fax 052-832-3592

nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>

